

2019年度第1四半期決算 電話会議 資料

2019年8月7日（水）

立ちどまらない保険。

MS&AD

INSURANCE GROUP

本日のポイント

2019年度第1四半期 業績

<トップライン>

- ・国内損保は、主要 2 社合計で、105億円（1.5%）の増収。
支払再保険料増加のマイナス影響が集中する四半期であったが、自動車保険が保険料単価の上昇を主因に2.1%の増収となったことに加え、火災保険および新種保険も好調であったことから、増収を確保した。
- ・国内生保のグロス収入保険料は、MSA生命、MSP生命ともに好調で3.7%の増収。
- ・海外保険子会社は、為替影響を主因に減収。

<ボトムライン>

- ・四半期純利益は、121億円増益の959億円。進捗率は48.0%。
- ・国内損保主要 2 社合計は、保険引受利益増を主因に増益。
自動車保険のEI損害率は、事故頻度の低下を主因に前年同期を下回った。
- ・海外保険子会社は、MS Amlinおよび海外生保の増益を主因に54億円の増益。

全体目次

2019年度第1四半期決算の概要

グループ連結	P5-11
国内損害保険会社	P12-14
国内生命保険会社	P15-16
海外保険子会社	P17
（参考）国内損害保険会社主要 2 社の業績概要	P18-20
（参考）MS Amlin 業績概要	P21-22
（参考）ESRの状況	P23

※決算データにつきましては、当社ホームページに掲載しています「国内損保決算データ集(Excelファイル)」もご参照ください。

2019年度第1四半期決算の概要

損保子会社

(億円)

	2018年度 第1四半期	2019年度 第1四半期	2019年度	
			前年同期比	増収率
元受正味保険料(除く収入積立保険料)※	10,191	10,384	192	1.9%
正味収入保険料※	9,705	9,768	62	0.6%
三井住友海上	3,764	3,787	22	0.6%
あいおいニッセイ同和損保	3,097	3,179	82	2.7%
三井ダイレクト損保	93	90	△ 2	△ 2.6%
海外保険子会社	2,742	2,702	△ 40	△ 1.5%

※ 自動車保険「もどリッチ」の払戻充当保険料を控除したベース

生保子会社

(億円)

	2018年度 第1四半期	2019年度 第1四半期	2019年度	
			前年同期比	増収率
保険料(グロス収入保険料)※	3,625	3,759	133	3.7%
三井住友海上あいおい生命	1,167	1,225	58	5.0%
三井住友海上プライマリー生命	2,458	2,534	75	3.1%
生命保険料	2,905	2,984	78	2.7%

※ 保険料(グロス収入保険料)は国内生保子会社のみ

グループ連結(2019年度第1四半期)①業績の概要 1(トップライン)

(損保子会社[国内・海外])

- ・正味収入保険料は62億円、0.6%の増収。海外保険子会社は減収(△40億円)となったが、国内損保子会社の増収(102億円)が寄与。
- ・国内損保主要2社は、元受保険料ベースでMSが3.3%、ADが3.7%の増収。正味収入保険料も、再保険の買増等による支払再保険料増加の影響等があったものの、2社合算で1.5%の増収。
- ・海外保険子会社の正味収入保険料は、円高ポンド安などによる為替影響を主因に減収。

(国内生保子会社)

- ・MSA生命: 15ページを参照
- ・MSP生命: 16ページを参照

（億円）

	2018年度 第1四半期	2019年度 第1四半期	2019年度	
			前年同期比	増減率
経常利益	1,254	1,179	△ 74	△ 6.0%
三井住友海上	728	863	134	18.5%
あいおいニッセイ同和損保	364	334	△ 30	△ 8.4%
三井ダイレクト損保	10	19	8	80.0%
三井住友海上あいおい生命	50	46	△ 3	△ 7.9%
三井住友海上プライマリー生命	167	△ 36	△ 203	△ 121.8%
海外保険子会社	71	120	49	69.3%
その他・連結調整等	△ 138	△ 168	△ 29	-
四半期純利益※	838	959	121	14.5%
三井住友海上	551	658	106	19.2%
あいおいニッセイ同和損保	260	239	△ 21	△ 8.1%
三井ダイレクト損保	9	17	7	80.5%
三井住友海上あいおい生命	21	20	△ 1	△ 5.9%
三井住友海上プライマリー生命	68	52	△ 16	△ 23.9%
海外保険子会社	44	98	54	123.3%
その他・連結調整等	△ 117	△ 125	△ 8	-

※ 連結の四半期純利益は親会社株主に帰属する四半期純利益を記載。子会社の四半期純利益は出資持分ベース。以下同じ。

グループ連結（2019年度第1四半期）①業績の概要 2（ボトムライン）

< 四半期純利益 >

（グループ連結）

・国内損保子会社と海外保険子会社の増益を主因に121億円の増益。進捗率は48.0%となり、順調なスタートとなった。

（国内損保子会社）

・MSは106億円の増益。増収によるアード保険料の増加や、異常危険準備金損益が91億円のプラス要因となったことにより保険引受利益は183億円の増益。
 ・ADは△21億円の減益。増収によりアード保険料は増加したものの、社費増加等により保険引受利益は△31億円の減益。

（国内生保子会社）

・MSA生命は、ほぼ前年同期並み。
 ・MSP生命は、販売手数料負担の増加と商品ラインの変化による責任準備金負担の増加を主因に△16億円の減益。

（海外保険子会社）

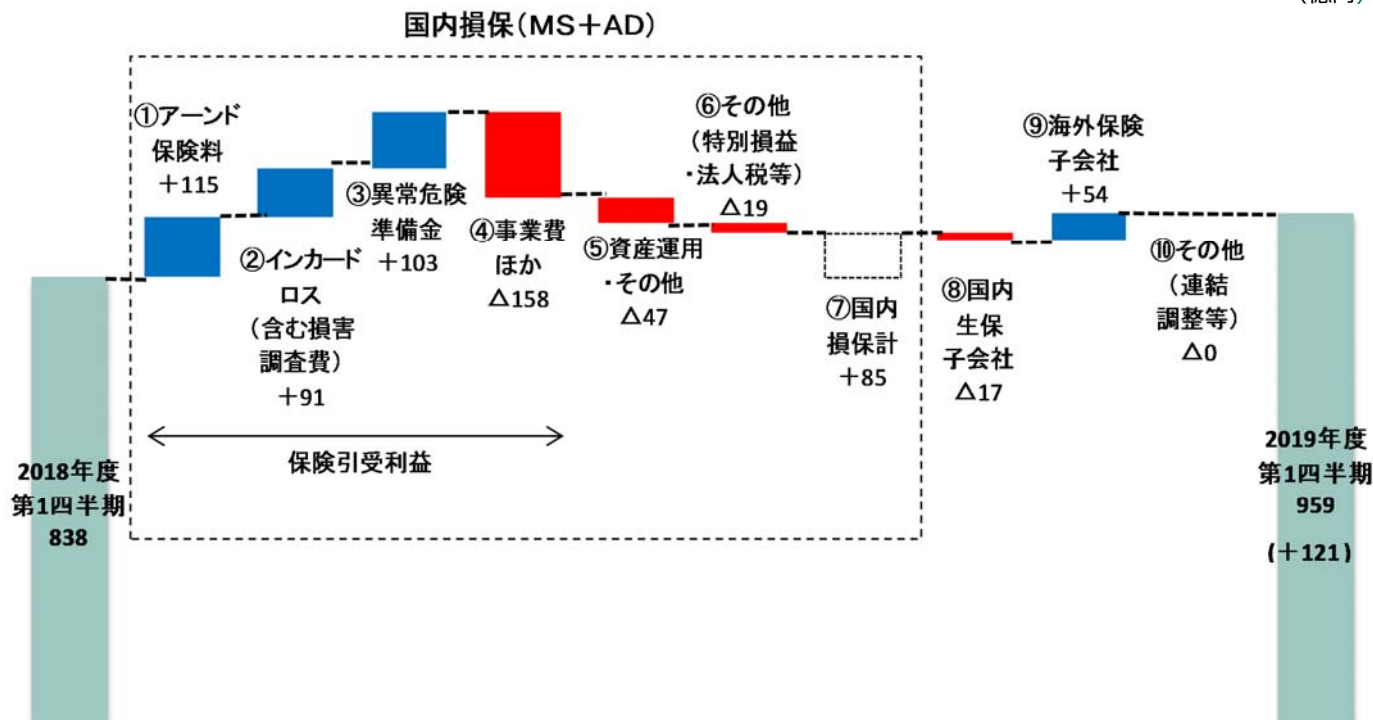
・海外保険子会社は54億円の増益。MS Amlinの増益（33億円）および海外生保の増益が寄与。

グループ連結（2019年度第1四半期）②前年同期との比較 1

- ・ 四半期純利益は、国内損保および海外保険子会社の増益を主因に121億円の増益。
- ・ 国内損保主要 2 社は、①のアーンド保険料および③の異常危険準備金がプラス要因となり85億円の増益。

四半期純利益

(億円)



グループ連結（2019年度第1四半期）②前年同期との比較 2

四半期純利益の内訳

(億円)

	2018年度第1四半期	2019年度第1四半期	差額
四半期純利益	838	959	121
国内損保 ^{※1} 保険引受利益(除く家計地震・自賠責)	477	628	151
アーンド保険料 ①	6,000	6,115	115
インカードロス(含む損害調査費) ②	Δ 3,269	Δ 3,178	91
異常危険準備金損益 ③	Δ 241	Δ 138	103
事業費ほか ^{※2} ④	Δ 2,011	Δ 2,170	Δ 158
資産運用・その他 ⑤	616	569	Δ 47
その他(特別損益・法人税等) ⑥	Δ 280	Δ 299	Δ 19
国内損保計 ⑦	812	897	85
国内生保子会社 ⑧	89	72	Δ 17
海外保険子会社 ⑨	44	98	54
その他(連結調整等) ⑩	Δ 108	Δ 108	Δ 0

※1 国内損保は、三井住友海上とあいおいニッセイ同和損保の金額の合計

※2 「事業費ほか」には、為替損益などが含まれる

グループ連結（2019年度第1四半期）③グループ修正利益

・グループ修正利益は、△13億円の減益。

(億円)

	2018年度 第1四半期	2019年度 第1四半期	前年同期比	
			2019年度 第1四半期	前年同期比
グループ修正利益 ^{※1}	1,141	1,128		△13
国内損保事業	936	910		△26
国内生保事業	92	78		△13
海外事業	102	131		28
金融サービス事業/リスク関連事業	9	7		△1

※1 「グループ修正利益」の定義は最終ページご参照。なお「グループ修正ROE」は年度末に開示。

(参考)

グループ修正利益 1,128	=	連結四半期純利益 959	+	異常危険準備金等 繰入・戻入額 ^{※2} 108	-	その他 特殊要因 ^{※3} △60	+	非連結 グループ会社 持分利益 △0
-------------------	---	-----------------	---	---	---	----------------------------------	---	-----------------------------

※2 繰入の場合は加算、戻入の場合は減算

※3 のれん償却等△85、特別損益(除く価格変動準備金)等25

国内損害保険会社（2019年度第1四半期）①主要2社の業績概要 1

- ・アーンド保険料は、新種保険、火災保険、自動車保険の増収を主因に115億円の増収。保険引受利益（異常危険準備金反映前）は48億円の増益。
- ・支払保険金の増加に伴う異常危険準備金取崩の増加により異常危険準備金損益は103億円の増益。

(億円)

	2社合計(単純合計)		三井住友海上(単体)		あいおいニッセイ同和損保	
		前年同期比		前年同期比	(単体)	前年同期比
正味収入保険料 ^{※1}	6,966	105	3,787	22	3,179	82
アーンド保険料 ^{※2}	6,115	115	3,412	64	2,702	51
インカードロス(含む損害調査費) ^{※2}	(-)	△91	1,771	△54	1,407	△37
保険引受に係る事業費 ^{※2}	(-)	62	1,116	1	1,000	60
諸手数料及び集金費 ^{※2}	1,275	39	662	20	612	19
営業費及び一般管理費 ^{※2}	840	22	453	△18	387	41
保険引受利益(異常危険準備金反映前)	766	48	507	91	259	△43
異常危険準備金損益	△138	103	△42	91	△95	11
保険引受利益	628	151	464	183	163	△31
EI損害率 ^{※2}	52.0%	△2.5pt	51.9%	△2.6pt	52.1%	△2.4pt
正味損害率 ^{※1}	58.6%	0.9pt	59.7%	1.6pt	57.4%	0.1pt
正味事業費率 ^{※1}	32.9%	0.3pt	31.8%	0.0pt	34.3%	0.7pt
コンバインド・レシオ ^{※1}	91.5%	1.2pt	91.5%	1.6pt	91.7%	0.8pt

※1 全種目ベース

※2 除く家計地震・自賠責ベース

※ 自動車保険「もどリッチ」の払戻充当保険料を控除したベース

※ アーンド(既経過)保険料は、未経過保険料(除く自然災害責任準備金)・保険料積立金等を調整して算出

国内損害保険会社（2019年度第1四半期）①主要2社の業績概要2

- ・ 四半期純利益は、保険引受利益の増益を主因に85億円の増益。
- ・ 政策株式の売却額は、ほぼ前年同期並みの261億円。

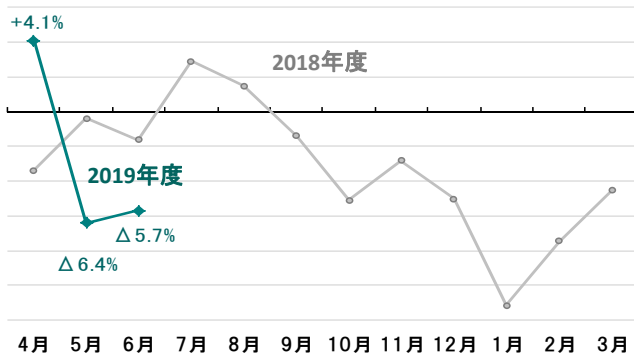
(億円)

	2社合計(単純合計)		三井住友海上(単体)		あいおいニッセイ同和損保(単体)	
		前年同期比		前年同期比		前年同期比
保険引受利益	628	151	464	183	163	△ 31
ネット利息及び配当金収入	492	29	329	12	163	17
有価証券売却損益	198	4	138	△ 15	60	19
有価証券評価損 (一)	42	32	12	2	30	29
資産運用・その他収支	569	△ 47	398	△ 48	170	1
経常利益	1,197	104	863	134	334	△ 30
特別損益	△ 20	11	△ 12	△ 1	△ 8	12
税引前四半期純利益	1,176	115	850	133	325	△ 18
法人税等	279	30	192	27	86	2
四半期純利益	897	85	658	106	239	△ 21
	2社合計					
(参考)政策株式売却額	261	△ 4				

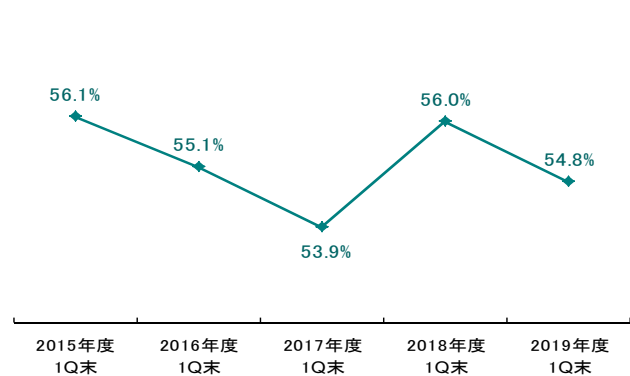
国内損害保険会社（2019年度第1四半期）②自動車保険の状況

- ・ 事故件数は、6月末累計で前年同期比△3.8%の減少。
- ・ 事故頻度の低下を主因にEI損害率は1.2pt低下の54.8%。引き続き保険金単価の上昇を注視。

事故件数の推移 (国内, 1日あたり, 対前年同月。除く自然災害)
(MS・AD 2社単純合算ベース)



EI 損害率の推移 (含む損害調査費)
(MS・AD 2社単純合算ベース)



保険料・保険金

三井住友海上

<国内・営業ベース>	契約台数	保険料単価	保険料
保険料増減要因	+0.5%	+1.4%	+1.9%
<国内>	対物	車両(除く自然災害)	
保険金単価増減	+0.2%	+0.9%	

あいおいニッセイ同和損保

<国内・営業ベース>	契約台数	保険料単価	保険料
保険料増減要因	△ 0.1%	+2.5%	+2.4%
<国内>	対物	車両(除く自然災害)	
保険金単価増減	+0.9%	+1.4%	

※ 保険料増減要因の諸数値は営業成績ベース(4-6月)の対前年同期比

※ 保険金単価の増減は、2019年3月末過去1年間の保険金単価に対する、2019年6月末過去1年間の保険金単価の増減を表示

※ EI損害率算出対象期間は、各年度の4-6月

国内生命保険会社 三井住友海上あいおい生命（2019年度第1四半期）業績概要

- ・グロス収入保険料はMS、ADからの第三分野長期保有契約移行による増収影響もあり、58億円の増収。
- ・四半期純利益は、ほぼ前年同期並みとなった。

三井住友海上あいおい生命

(億円)

	2018年度 第1四半期		2019年度 第1四半期		
			前年同期比	増減率	
新契約高（個人合計）		9,146	5,021	△ 4,124	△ 45.1%
新契約年換算保険料		94	66	△ 27	△ 29.1%
うち 第三分野		40	48	7	18.3%
保有契約高（個人合計）	(期首)	245,331	245,105	(期首比) △ 226	△ 0.1%
保有契約年換算保険料	(期首)	4,315	4,488	(期首比) 173	4.0%
うち 第三分野	(期首)	1,078	1,291	(期首比) 212	19.7%
保険料(グロス収入保険料)		1,167	1,225	58	5.0%
経常利益		50	46	△ 3	△ 7.9%
特別損益		△ 4	△ 2	1	-
四半期純利益		21	20	△ 1	△ 5.9%
基礎利益		48	36	△ 12	△ 25.4%

国内生命保険会社 三井住友海上プライマリー生命（2019年度第1四半期）業績概要

- ・グロス収入保険料は、外貨建定額終身の販売増加を主因に定額商品が増収となったことから75億円の増収。
- ・四半期純利益は△16億円減益の52億円。

三井住友海上プライマリー生命

(億円)

	2018年度 第1四半期		2019年度 第1四半期		
			前年同期比	増減率	
新契約高（個人合計）		2,480	2,555	74	3.0%
保有契約高（個人合計）	(期首)	66,785	66,811	(期首比) 26	0.0%
保険料(グロス収入保険料)		2,458	2,534	75	3.1%
経常利益		167	△ 36	△ 203	△ 121.8%
特別損益		△ 73	108	181	-
四半期純利益		68	52	△ 16	△ 23.9%

金利・為替影響

(億円)

金利影響	58	△ 136
為替影響	6	19
合計	65	△ 116

海外保険子会社（2019年度第1四半期）業績概要

- ・ 正味収入保険料は為替影響を主因に△40億円の減収となった。
- ・ 四半期純利益は、MS Amlinおよび海外生保の増益を主因に54億円の増益。

海外保険子会社

(億円)

	2018年度 第1四半期	2019年度 第1四半期	前年同期比	
			増収率	増減率
正味収入保険料	2,742	2,702	△ 40	△1.5%
アジア	468	473	4	1.1%
欧州	2,151	2,120	△ 30	△1.4%
(うちMS Amlin)	1,977	1,945	△ 32	△1.6%
米州	122	107	△ 14	△11.8%
四半期純利益	44	98	54	123.3%
アジア	41	36	△ 5	△13.3%
欧州	△ 12	19	31	-
(うちMS Amlin)	0	34	33	6,405.8%
米州	4	3	△ 1	△25.2%
海外生保	9	39	29	307.3%

(ご参考) 国内損害保険会社（2019年度第1四半期）主要2社の業績概要 1

正味収入保険料

(億円)

	2社合計(単純合計)		三井住友海上(単体)		あいおいニッセイ同和損保 (単体)	
		増収率		増収率		増収率
火災	812	△3.5%	398	△8.5%	414	1.8%
海上	176	△3.9%	157	△4.3%	19	△0.5%
傷害	558	△4.1%	401	△1.9%	157	△9.3%
自動車	3,532	2.1%	1,706	1.3%	1,825	2.8%
自賠責	811	6.6%	427	7.5%	384	5.7%
その他	1,075	4.3%	696	3.4%	379	5.8%
合計	6,966	1.5%	3,787	0.6%	3,179	2.7%
除く家計地震・自賠責	6,153	0.9%	3,358	△0.2%	2,794	2.2%

※自動車保険「もどりッチ」の払戻充当保険料を控除したベース

(ご参考) 国内損害保険会社 (2019年度第1四半期) 主要2社の業績概要 2

EI損害率 (2社単純合算)

	EI損害率			EI損害率(除く自然災害影響)		
	2018年度	2019年度	前年同期比	2018年度	2019年度	前年同期比
	第1四半期	第1四半期		第1四半期	第1四半期	
火災 (除く家計地震)	51.6%	48.0%	△3.6pt	49.6%	46.7%	△2.9pt
海上	55.5%	47.5%	△8.0pt	55.5%	47.5%	△8.0pt
傷害	51.8%	52.4%	0.6pt	51.8%	52.4%	0.6pt
自動車	56.0%	54.8%	△1.2pt	56.0%	54.8%	△1.2pt
その他	53.5%	47.0%	△6.5pt	53.4%	46.9%	△6.5pt
合計 (除く家計地震・自賠責)	54.5%	52.0%	△2.5pt	54.2%	51.7%	△2.5pt

※ 自動車保険「もどリッチ」の払戻充当保険料を控除したベース

※ インカードロス=正味支払保険金+損害調査費+支払備金積増額

※ EI損害率の分母となるアード(既経過)保険料は、未経過保険料(除く自然災害責任準備金)・保険料積立金等を調整して算出

※ 「自然災害影響」は、当年度発生国内自然災害および海外自然災害のインカードロスの金額

(ご参考) 国内損害保険会社 (2019年度第1四半期) 主要2社の業績概要 3

EI損害率 (三井住友海上(単体)、あいおいニッセイ同和損保(単体))

	EI損害率				EI損害率(除く自然災害影響)			
	三井住友海上 (単体)		あいおいニッセイ 同和損保(単体)		三井住友海上 (単体)		あいおいニッセイ 同和損保(単体)	
		前年同期比		前年同期比		前年同期比		前年同期比
火災 (除く家計地震)	50.4%	△3.7pt	45.4%	△3.3pt	50.4%	△1.7pt	42.7%	△4.0pt
海上	49.4%	△5.3pt	30.7%	△33.1pt	49.4%	△5.2pt	30.7%	△33.1pt
傷害	52.0%	△1.1pt	53.4%	4.6pt	52.0%	△1.1pt	53.4%	4.6pt
自動車	53.7%	△1.3pt	55.9%	△1.1pt	53.7%	△1.3pt	55.9%	△1.1pt
その他	49.1%	△5.3pt	42.4%	△9.2pt	49.1%	△5.2pt	42.2%	△9.4pt
合計 (除く家計地震・自賠責)	51.9%	△2.6pt	52.1%	△2.4pt	51.9%	△2.3pt	51.5%	△2.6pt

※ 自動車保険「もどリッチ」の払戻充当保険料を控除したベース

※ インカードロス=正味支払保険金+損害調査費+支払備金積増額

※ EI損害率の分母となるアード(既経過)保険料は、未経過保険料(除く自然災害責任準備金)・保険料積立金等を調整して算出

※ 「自然災害影響」は、当年度発生国内自然災害および海外自然災害のインカードロスの金額

(百万ポンド)

	2018年度 第1四半期	2019年度 第1四半期	前年同期比
正味収入保険料	1,313	1,340	28
アード保険料	755	725	△30
インカードロス(含む損害調査費)	479	499	20
手数料・社費	267	256	△11
保険引受利益	2	△51	△53
資産運用損益※2	33	104	71
その他損益※3	△40	△33	7
四半期純利益	0	24	23
EI 損害率	63.4%	68.9%	5.5pt
EI 事業費率※4	36.3%	38.1%	1.8pt
EI コンバインド・レシオ※4	99.7%	107.0%	7.3pt

※1 現地管理ベース

※2 MS Amlinは有価証券の時価変動を損益に反映させる会計処理方法を採用

※3 保険事業会社以外で生じる経費等。なお、2018年度第1四半期には人員削減に伴う退職一時金等が含まれる

※4 EI 事業費率およびEI コンバインド・レシオは、現地管理に合わせて保険引受利益に含まれる為替差損益を入れて算出

(ご参考) MS Amlin 2019年度第1四半期(2019年1-3月期)業績概要

(全般)

- 税後利益は、資産運用が好調であったことや、大規模自然災害の影響を受けなかったこと等から、24百万ポンドと前年同期比および計画比とも上回って着地。

(保険引受)

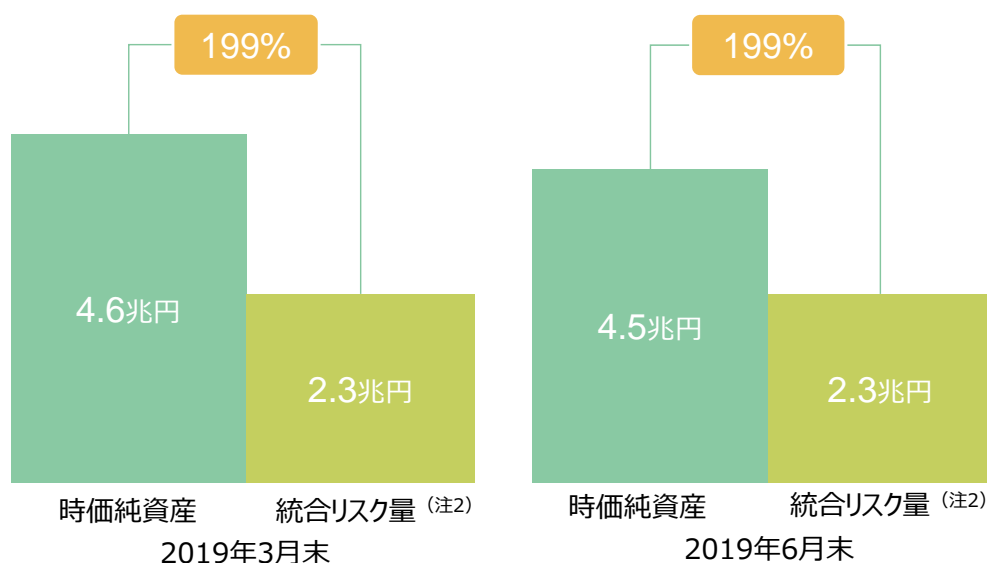
- 昨年度以来の収益回復取組に伴う引受厳格化により、アード保険料は725百万ポンドと△30百万ポンド減収。
- 大規模な自然災害の影響は受けなかったものの、航空機事故や工場火災などによる大口ロスが例年以上に発生したことや、為替差損* (△21百万ポンド)を主因に、保険引受利益は△51百万ポンドとなった。
- 第2四半期は、大口ロス発生動向は落ち着きを見せており、大規模自然災害の影響も受けていないことから、良化を見込む。
- 料率引上げ、引受条件の改善や厳格な引受選別および経費削減取組を継続していく。

(資産運用)

- 資産運用損益は、2019年1月以降の米国を中心とした株価上昇、債券ファンドの好調等を背景に、104百万ポンドと大幅な増益。

* IFRSでは外貨建責任準備金等を為替換算替えしないため、主に対応する米ドルの資産から為替差損が生じる。

ESR^(注1)



<ESRの主な増減要因>
(2019年3月末対比)

ESRは、主に以下のような要因により、2019年3月末と同水準。

- ✓ 時価純資産は、国内金利の低下等による減少を利益の積み上げによる増加で、ほぼ相殺。
- ✓ 統合リスク量は国内金利の低下により増加したものの、政策株式の売却等によるリスク削減取組の結果、ほぼ横ばい。

<市場環境前提>

	2019年 3月末	2019年 6月末	対3月末
日経平均株価	21,206円	21,276円	+70円
為替 (ドル円)	111円	108円	▲3円
国債30年金利	0.51%	0.36%	▲0.15pt

(注1) ESR : エコミック・ソルベンシー・レシオ (=時価純資産÷統合リスク量)

(注2) 統合リスク量 : 信頼水準99.5%のVaR (Value at Risk) でリスク量を計測。

この資料では、社名表示に次の略称を使用している箇所があります。

- ・ MS&ADホールディングス、持株会社 (＝MS&ADインシュアランス グループ ホールディングス(株))
- ・ MS&AD (＝MS&ADインシュアランス グループ)
- ・ 三井住友海上、MS (＝三井住友海上火災保険(株))
- ・ あいおいニッセイ同和損保、AD (＝あいおいニッセイ同和損害保険(株))
- ・ 三井ダイレクト損保、MD (＝三井ダイレクト損害保険(株))
- ・ 三井住友海上あいおい生命、MSA生命 (＝三井住友海上あいおい生命保険(株))
- ・ 三井住友海上プライマリー生命、MSP生命 (＝三井住友海上プライマリー生命保険(株))
- ・ MS Amlin (＝MS Amlin plc)

「グループ修正利益」の定義

グループ修正利益 = 連結当期利益 + 異常危険準備金等繰入・戻入額 - その他特殊要因（のれん・その他無形固定資産償却額等）+ 非連結グループ会社持分利益

修正純資産 = 連結純資産 + 異常危険準備金等 - のれん・その他無形固定資産

グループ修正ROE = グループ修正利益 ÷ 修正純資産（期初・期末平均）

予想および見通しに関する注意事項

この資料に記載されている内容のうち、MS&ADホールディングスならびにグループ各社の将来に関する計画や戦略、業績に関する予想や見通しは、現時点で把握できる情報から得られた当社グループの判断に基づいています。実際の業績は、さまざまな要因によりこれらの業績見通しと異なる結果になり得ることをご承知おき下さいますようお願いいたします。実際の業績に影響を及ぼし得る要因としては、(1)事業を取り巻く経済動向、(2)保険業界における競争激化、(3)為替レートの変動、(4)税制など諸制度の変更、などがあります。

お問い合わせ先

MS&AD インシュアランス グループ ホールディングス株式会社
広報・IR部

TEL: 03-5117-0311

URL: <https://www.ms-ad-hd.com/ja/ir/contact.html>